

第 18 回 日本胸部外科女性医師の会

—活動報告書—

代表世話人

齋藤 綾 (公立大学法人横浜市立大学 大学院医学研究科 外科治療学)

世話人

神吉佐智子 (大阪医科薬科大学 心臓血管外科)

山崎祥子 (舞鶴共済病院 心臓血管外科)

はじめに

今年は、第76回日本胸部外科学会学術集会の第1日目に開催しました。COVID19が感染症5類に分類されてから初めての胸部外科学会開催でしたが、COVIDパンデミック以前同様、会場には多くの方が来場しており、活気ある学会でした。本会では、「ライフサイエンス業界における Diversity and Inclusion—リーダーシップとキャリア形成」と題し、University of California at San Francisco Medical center の cardiothoracic 部門で chief を務めておられる Elaine Tseng 先生と、バイエル薬品株式会社で研究開発部長を務めておられる梶川麻里子先生のお二人にご講演をいただきました。特に日本では女性チーフの割合が少ないという現状において、第一線でチーフをされている女性の先生方から、チーフに至るまでのキャリア形成、また現在リーダーとしてどのようにチームのパワーアップを考えているかというトピックについて、それぞれのお立場から大変貴重なお話を伺うことができました。1時間という限られた時間ではありましたが、大変有意義なセッションとなりました。

日本胸部外科学会事務局、第76回日本胸部外科学会事務局ならびに会頭の齋木佳克木先生には多大なるご尽力をいただきました。この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

第18回
日本胸部外科女性医師の会

ライフサイエンス業界における
Diversity and Inclusion
～リーダーシップとキャリア形成～

2023年
日時 10/19 THU 11:45-12:45
(受付開始 11:35)

会場 第76回日本胸部外科学会定期学術集会
仙台国際センター 第7会場

講師 Elaine Tseng
Professor of Surgery, University of California at San Francisco Medical
Center, Chief of Cardiothoracic Surgery, San Francisco VA Medical Center



梶川 麻里子
バイエル薬品株式会社 執行役員 研究開発本部長



座長 神吉 佐智子 (大阪医科薬科大学)
山崎 祥子 (舞鶴共済病院)

会費 学会参加者及び医学部学生・研修医は無料
上記以外は1,000円

主催 / 日本胸部外科女性医師の会 共催 / 日本胸部外科学会・日本医師会

概要

日 時 : 2023 年 10 月 19 日 (木) 11:45~12:45

講 師 : Elaine Tseng 先生

Professor of Surgery, University of California at San Francisco Medical Center, Chief of Cardiothoracic Surgery, San Francisco VA Medical Center)

梶川 麻里子先生

バイエル薬品株式会社 執行役員 研究開発本部長

テーマ : ライフサイエンス業界における Diversity and Inclusion
ーリーダーシップとキャリア形成

司 会 :

神吉 佐智子先生 (大阪医科薬科大学 心臓血管外科)

山崎 祥子先生 (舞鶴共済病院 心臓血管外科)

講演内容

今回は、「ライフサイエンス業界における Diversity and Inclusion－リーダーシップとキャリア形成」というテーマのもと、University of California at San Francisco Medical center の cardiothoracic 部門で chief を務めておられる Elaine Tseng 先生と、バイエル薬品株式会社で研究開発部長を務めておられる梶川麻里子先生のお二人にご登壇いただきました。

お一人目は、University of California at San Francisco Medical center の Elaine Tseng 先生ご講演いただきました。

アメリカの胸部外科における女性医師の割合は、4%ぐらいとのことで、割合は日本とあまり変わらない状況のようです。Tseng 先生は、ご自分のキャリア形成を振り返り、キャリアの早期には全ての手術を万遍なく行い、その中から徐々に自分の専門を絞っていかれたという過程をお話ししてくださいました。手術のトレーニングはもちろんですが、研究面においてもグラントをとって大血管や TAVI 植え込み後の血流解析などの研究を行い、first author としてもたくさんの論文を書かれています。Life-work balance についても触れられており、ご結婚されて娘さんがいらっしゃるとのことですが、幼少時にはご両親や夫、シッターなどと協力して（任せるのではなく協力）子育てを行い、学校へ行ってからも送り迎えや勉強を手伝ったりというもされていたとのことです。外科医としてキャリアを途絶えさせず、手術も家庭も学術も両立している、という偉業を普通のことのように淡々と語られていました。Tseng 先生のキャリアや業績は、現在日本の第一線で活躍している胸部外科医と比べても遜色なく、女性のロールモデルとしてはもちろん、子育てを協力して行いたい男性にも大変参考になるご講演だったのではないかと思います。

お二人目はバイエル薬品株式会社の研究開発本部長、梶川麻里子先生にご講演いただきました。梶川先生は、医学部を卒業して医師免許を取り、研修医も終えて内科医として勤務されていましたが、そのまま臨床医として働く選択をされず、製薬会社のバイエルへ入社されたという異色の経歴の持ち主です。臨床医として疲れ切ってしまったので、思い切って製薬会社に飛び込んだというご自身のキャリアは簡単に述べられ、ご講演の内容は主に、梶川先生とバイエルが、

diversity や女性の inclusion をどのように捉え、どのようなことに取り組んでいるかをお話しされました。多様性を平等に受け入れ、同等の価値を認められる inclusive な組織は、多様性を受け入れない組織に比べ 6 倍革新的で機動的、3 倍のハイパフォーマンスが得られるとされています。Diversity において女性の才能を生かすのは非常に重要ですが、残念ながらスタート時には五分五分だったキャリアは、年を経てリーダーポジションになっていくにつれ男性の割合が増えていくのも事実です。一般的な女性の性質として、昇進や増給の希望を自分から積極的に訴えないなどあり、女性のプロモーションを上げるためには自分から手を上げる男性と同じ方法ではなく、会社として積極的に女性を引っ張る必要があるという認識です。バイエルは会社として 2025 年までにマネジメントポジションの女性の割合を 50%にするという具体的な目標を掲げており、そもそも女性雇用の母体数が少ないのにマネージャー職だけ女性割合が多いのもおかしいので、積極的に多様な働き方の女性の雇用や、いったんキャリアを中断して子育てなどを行なった女性のタレントを生かす取り組みを行なっているとのこと。会社全体としてパワーアップするために、現在まだ大きなポテンシャルを秘めている女性の力を有効活用していく、そのために男女の違いを理解して、具体的に対策を立てていく、というお話で、なんとか胸部外科分野の人手不足にも応用できないかと考えさせられました。

現地会場には世話人も含め 20 人の公聴者が来場してくださいました。学会会場の一室での開催で、時間厳守での会場使用でしたが、最後に記念撮影を行なって会を締めくくりました。



おわりに

今回はパンデミック以前と同様の現地開催形式でした。学会の方々のご協力があり、スムーズに会の進行ができました。

会場へ足を運んでFace to faceでディスカッションができるというのは大変喜ばしく刺激がある反面、テレビやインターネットで、見逃し番組がオンデマンドでいつでも見られる時代に、現地に会場にいないければこの有意義なセッションが聞けないというのは少し残念な気がしました。情報や知識の共有をいかにしていくかは今後の課題かとも感じました。

あと毎年感じるのは、女性医師の会ということで、どうしても女性が参考にする話と取られがちです。diversityがこれだけ盛んに討論される中、男性にも通用するロールモデルであったり、また女性をいかにパワーとして取り入れていくか、上司として、部下として一緒に働く上で参考になるご講演でしたが、参加者がほとんど女性だったのは、これも少し残念でした。子育ても含めて女性が働きやすい環境は、男性も働きやすい環境と思われまますので、一緒に考えていける会になって行けばと思います。

最後になりましたが、今回無事に第18回目の会を開催するに至り、お世話になった方々へ心より謝辞を申し上げます。

(文責：山崎 祥子)

令和4年から令和5年度会計報告

収入

前年度繰越金	897,897
日本医師会支援金(胸部外科学会より入金)	178,185
利息	10
合計	1,076,082

支出

第16回集会開催費用	
講演者謝礼	40,000
講演者謝礼(昨年度分)	3,000
講演者交通費	34,730
チラシ、ポスター費用	3,519
雑費(郵送費) 82×120通	9,840
ホームページへの開催情報登録費用	5,500
レンタルサーバー利用料金	9,240
書類郵送費	2,310
振り込み手数料	3,340
合計	111,479
次年度繰越金	964,603